



③ 5年 単元名「小数÷小数」

**学習ふりかえりカード**

5年      名前

学習内容（小単元名） 「小数÷小数」

問題・・・2.4mで96円のひも1mのねだんを求める式をかきましょう。

ヒント・1mのねだんを求める**ことばの式**  $\boxed{\text{代金}} \div \boxed{\text{長さ}} = \boxed{1\text{mのねだん}}$

※この下に5段階自己評価がある。

立式の理由を説明するとき、その根拠となることをヒントとして書いておくことで、「ことばの式」の活用を促すことができる。

(2) 学習内容の理解を確認するための活用例

① 4年 単元名「商が1けたになる筆算」

**学習ふりかえりカード**

4年      名前

学習内容（小単元名） 「わり算の筆算（商が1けたになる筆算）」

次の計算を筆算でしてみましょう。

①  $96 \div 24$                       ②  $75 \div 25$

※この下に5段階自己評価がある。

本時の授業や単元の学習の振り返りを自分の言葉で書く。分かったことや気づいたこと、もっとやってみようことなどを書くことで、児童の興味を喚起させたり書くことの習慣化を図ったりする。

② 6年 単元名「円の面積」

**学習ふりかえりカード**

6年      名前

学習内容（小単元名） 「円の面積」

次の円の面積をもとめましょう。

①半径2cmの円の面積              ②円周の長さが25.12cmの円の面積

ヒント① ・円の面積 = (    ) × (    ) × 3.14

ヒント② ・円周の長さ = ( 直径 ) × 3.14      ・半径 = ( 直径 ) ÷ 2

※この下に5段階自己評価がある。

問題解決のために必要な既習内容を確認しながら、ヒントを活用できるようにする。問題につまずいている児童は、これを手がかりに学習を進めることができる。